

平成 24 年度第 1 回愛知県障害者施策審議会
辻・林・村山・長谷委員提出資料

※当日資料が 7 月 23 日に届いたので、時間が無く、この資料提出が遅くなり、申し訳ございませんでした。

第 1 回愛知県障害者施策審議会へむけての事前質問

2012 年 7 月 26 日

辻直哉・林智樹・村山文彦・長谷由香

1. 愛知県障害者施策審議会について

①内閣府の障害者政策委員会（7 月 23 日開催）では深く議論をするために、小委員会形式で行うことが提案されています。愛知県においても、新たに審議会としてスタートし、また監視という役割を担うためにも、深く議論をする場が必要と思いますが、いかがでしょうか。

②議決についてお伺いします。

この審議会での議決の効力について教えてください。上記の内閣府政策委員会では総理大臣または関係各大臣に対し意見を述べることで、勧告することができるとありますが、この審議会は県知事に意見を述べることで、勧告することができるのですか。

③今年度の会議の日程および審議項目について示して欲しいです。新法の来年度施行にあたり、審議事項はいくつかあるはずと思いますが、いかがでしょうか。

④障害者基本法 36 条「施策の実施状況を監視」とあるが、どのような方法で行うのですか。

◎同 2 項「当機関が様々な障害者の意見を聴き障害者の実情をふまえた調査審議を行う」とあるが、具体的にどのような体制、手順で行うか、教えてください。審議会への当事者委員参加だけで、審議会を形式的に開いて済ますことはないようにしてください。

⑤条例の第 5 条「幹事」は「委員を補佐する」とあるが、日常的または年間を通じてどのような補佐が行われるのですか。

2. 愛知県障害福祉計画について

※第3期障害福祉計画

	協議会回数	パブリックコメント数	その他
愛知県	3回	15	
埼玉県	6回	338	ワーキングチームでの検討あり

(障害福祉計画より作成)

- ①計画が多岐にわたり、議論を深めるためワーキングチームでの検討が必要だったのではないのでしょうか。
- ②埼玉県と比較してパブリックコメント数が非常に少ない数となっています。要因について、どう思われますか。

※第2期障害福祉計画

第2期愛知県障害福祉計画の実績評価について、単なる数字の評価にとどまらず、その背景の分析と課題への取り組みの具体化をもっと深めることが大切です。具体的には、①障害当事者一人ひとりの実情（本人の主体的・自主的要望やその人らしさの追求を含む）に深く依拠した個別支援計画の策定とその実施・フォロー、②ピア・サポーターや一般の支援者、支援専門職員の育成とスキル・アップ、③各種施設への障害当事者のホスピタリズム（安住主義）の克服と本人のステップ・アップへの組織的連携、④障害当事者の地域生活移行というときの、その理念と実情・内実の具体的検証を行ってください。

3. 愛知県資料1-1について

- ①関係行政機関として3団体があげられているが、これだけでよいのでしょうか。名古屋市と労働関係団体2つです。教育行政、住宅や建物・交通等のバリアフリーに関わる行政機関を入れる必要があると思いますが、いかがでしょうか。
- ②最近の審議事項の部分、報告事項が多数で審議事項が少ないと感じます。これでは審議会ではなくて、報告会になっています。議論を尽くす審議会であるべきです。この機会に、審議や協議のあり方や開催頻度、専門部会の新設や拡充、両会の役割分担の明確化と連携などについて、改善のための率直な議論がなされるようにしてください。
- ③自立支援協議会の部会が2つしかありませんが、相談支援、人材育成の二つで足りるのでしょうか。施設部会や資源開発に関する部会があつてよいのではと思いますが、いかがでしょうか。
- ④以前の協議会、自立支援協議会について、実績と課題が資料からはよくわかりません。2つの会がどんな実績や成果をあげたか、また課題はなにか、整理して欲しいです。

4. 愛知県資料1-2について

各圏域等における課題を把握したものが、審議会にあがってくるようなイメージがあります。圏域の課題を審議会で審議するという理解でよいでしょうか。

5. その他

①福祉医療制度の見直しについてお伺いします

現在、愛知県において福祉医療制度の見直し作業が行われているかと思えます。工程表によると、2012年度は、「市町村等協議と見直し案作成」が明記されています。進捗状況、検討資料等があれば提示と説明をお願いします。また、この審議会での議題になるのか教えてください。

②当日資料の配布について、郵便を使用されていますが、希望委員にはEメールで配信をお願いするのは可能でしょうか。郵送料削減にもなりますし、審議会開催お知らせのホームページへのアップも容易になると思いますが、いかがでしょうか。

1. 今回の審議会の位置づけは資料1-3で理解できるが、具体的な検討方法や運営方法についてどう考えてみえるのか知りたい。(これまで意見をださせていただいているが、反映されている実感がないため)
2. 愛知県社会福祉審議会で行われている内容や、位置づけは？(資料1-3ではないが)
3. 今後も家賃補助については、GH・CHのみに留まるのか。
4. 今後の地域移行を進めるにあたり、障害分野での積極的な「あんしん賃貸支援事業」のような制度が必要ではないか
5. 「訪問系サービス等の充実」は2期計画においても何度もでてきているが、具体的な方策が出されていない。重度訪問介護や対応可能な事業所の少ないなど、課題は何点か明確になっているものもあるはずだが、今後どう「充実」に向けて動くのか。
【資料1-3から】
6. 離職者数については、どのような範囲(方法)で調査したのか
7. 職場での定着支援はこれまでも続いている課題だと思うが、具体的にどこがやるのか(就労生活支援センター?)
8. 上記に携わるスタッフの育成が具体的な課題のように思うが。【資料3-3から】
9. 訪問系サービスの内訳に対する見込み量が知りたい。【資料3-4から】
10. 災害時の対応について、県はどこまで考えているか
11. 虐待防止法や差別禁止法について、何も触れられていないが今後具体的に検討されるのか。

新たな障害者基本計画の在り方に関する検討の進め方（案）

【進め方】

- 新たな障害者基本計画の全体像や総論的な議論については、委員全員で検討する。
- 新たな障害者基本計画の各論に関する検討は、計画に盛り込むべき分野をいくつかに分け、小委員会形式で検討する。
- 委員は、いずれかの小委員会に属することとする。
- 各小委員会に属する委員及び座長は、各委員の希望を踏まえつつ、委員長が指名する。
- 各小委員会には、委員のほか、各分野に関係する有識者等を専門委員として参加させることとし、各小委員会に属する専門委員は、委員長が指名する。

【今後のスケジュール】

- 8月20日 新たな障害者基本計画の全体像や総論的な議論
 - 9月～10月 小委員会（前半グループ）
 - 10月～11月 小委員会（後半グループ）
 - 12月後半 小委員会での議論を踏まえた全体的な検討
- ※委員は、前半・後半の各グループの小委員会に1ずつ参加。

参考資料

<資料 1>

◆第 3 期愛知県障害福祉計画 策定経過

年 月 日	策 定 経 過
平成 23 年 7 月 21 日	平成 23 年度第 1 回愛知県障害者施策推進協議会
平成 23 年 9 月 8 日	平成 23 年度第 2 回愛知県障害者施策推進協議会
平成 23 年 10 月 6 日	平成 23 年度第 1 回愛知県自立支援協議会
平成 23 年 11 月 8 日 ～11 月 14 日	第 3 期障害福祉計画の数値目標・サービス見込量等の市町村ヒアリング
平成 23 年 12 月 15 日	平成 23 年度第 3 回愛知県障害者施策推進協議会
平成 24 年 1 月 24 日 ～2 月 23 日	第 3 期愛知県障害福祉計画（案）に対する県民意見提出制度（パブリック・コメント制度）

1 策定の経緯

(1) 埼玉県障害者施策推進協議会での審議

障害者施策を審議する「埼玉県障害者施策推進協議会」において、計画の策定状況及び内容について審議し様々な意見をいただいた。

年 月	内 容	
平成23年	2月	・ 第3期障害者支援計画策定方針及びスケジュール ・ 自主的ワーキンググループの検討結果
	6月	・ 第2期障害者支援計画の進捗状況 ・ 第3期障害者支援計画の策定 ・ 障害者の生活実態アンケート
	6月	・ 障害者関係団体ヒアリング
	10月	・ 第3期障害者支援計画における障害者の現状と課題 ・ 第3期障害者支援計画（案）の骨子 ・ 障害者の生活実態アンケート結果（暫定）
	12月	・ 第3期埼玉県障害者支援計画（案）の県民コメントの実施
平成24年	3月	・ 第3期埼玉県障害者支援計画（案）の審議

(2) ワーキングチームでの検討

障害者施策推進協議会委員によるワーキングチームを結成し、障害者を巡る現状と課題や障害者の生活実態アンケートの内容などを検討した。

年 月	検 討 内 容	
平成22年	3月～ 14回開催	・ 障害者を巡る課題の洗い出し ・ アンケート内容の検討、まとめ
平成23年	7月	・ 障害者を巡る現状と課題の整理検討 ・ アンケート内容の確認 ・ 災害対策検討
	8月	・ 障害者を巡る現状と課題の整理検討 ・ 災害対策の検討
	9月	・ 障害者を巡る現状と課題の整理検討、まとめ ・ アンケート結果の確認 ・ 災害対策のまとめ

(3) 障害者関係団体からの意見要望聴取

平成23年6月に、障害当事者やその家族を会員とする障害者関係団体の現状と課題を、障害者施策推進協議会委員が聴取した。(団体数14)

(4) 埼玉県社会福祉審議会及び埼玉県自立支援協議会への報告

平成23年11月に埼玉県社会福祉審議会委員及び埼玉県自立支援協議会委員に計画策定状況を説明し、意見や要望をいただいた。

(5) アンケートの実施

障害のある方がどのように生活しどのような支援を求めているか把握するため、障害者の生活実態に関するアンケートを実施した。

1, 264人から回答があり計画への反映に努めた。

○ 実施時期 平成23年8月1日(月)～8月31日(水)

○ 内 容

- ① 障害者個人の状況に関すること
住まい、同居家族、障害者手帳の所持、障害程度区分など
- ② 生活支援に関すること
医療・福祉サービス、外出、災害対策、相談先など
- ③ 将来の希望に関すること
住まい、日中活動、支援の内容など

(6) 県民コメントの実施

幅広い県民の意見を聴くため、県民コメントを実施した。

障害者団体10及び県民41人から338件の意見が寄せられ、計画への反映に努めた。

○ 実施時期 平成24年1月4日(水)～2月3日(金)

○ 内 容

第3期埼玉県障害者支援計画(案)